

平成28年度 経済環境常任委員会管内視察の概要

■視察日 平成28年7月20日（水）

■視察者 経済環境常任委員（8名）
内野幸喜（委員長）、前田憲秀（副委員長）、西岡勝成、岩中伸司
溝口幸治、磯田 毅、末松直洋、高島和男

■視察先 ①エコアくまもと（玉名郡南関町）
②日立造船株式会社有明工場（玉名郡長洲町）
③ジャパンマリンユナイテッド株式会社有明事業所（玉名郡長洲町）

■視察趣旨 次のとおり、今後の委員会審議の参考とするため視察を実施しました。

- ① エコアくまもとは、昨年11月に完成した産業廃棄物の公共関与管理型最終処分場で、平成28年熊本地震により生じた災害廃棄物も受け入れており、施設の稼働状況を確認するとともに、産業廃棄物の処理状況等について意見交換を行い、廃棄物処理施策の参考とする。
- ② 日立造船株式会社有明工場は、昭和48年に操業を開始した誘致企業で、船舶用のディーゼルエンジンや原子力関連機器等を製造しており、今年1月に有明研究室が新たに設置されている。製造の現場を実際に確認するとともに、雇用や今後の設備投資等について意見交換を行い、産業振興施策等の参考とする。
- ③ ジャパンマリンユナイテッド株式会社有明事業所は、昭和48年に操業を開始した誘致企業で、タンカーや鉱石運搬船等を製造している。建造中の船舶に乗船して製造の現場を確認するとともに、雇用や建造実績、業界の動向等について意見交換を行い、産業振興施策等の参考とする。

■視察の概要

①エコアくまもと

熊本県公共関与産業廃棄物管理型最終処分場「エコアくまもと」は、豊かな自然と融和し、高度な安全性を備えた、全国のモデルとなる施設を目指して整備された施設で、今年3月から産業廃棄物の受入れを開始し、その直後に発生した平成28年熊本地震に伴う災害廃棄物についても受入れを行っており、フル稼働している状況でした。

管理・運営を行っている公益財団法人熊本県環境整備事業団から施設概要の説明を受けた後に、産業廃棄物や災害廃棄物の受入れや対応状況、環境教育の取組状況及び視察の対応状況等に関する質疑応答を行い、その後、施設の稼働状況を見学しました。



②日立造船株式会社有明工場

日立造船株式会社有明工場は、有明海に面した玉名郡長洲町で昭和48年に操業を開始した誘致企業です。同社の最大かつ最新鋭の工場で、船舶用のディーゼルエンジンや原子力関連機器等を製造しており、今年1月には有明研究室が新たに設置されました。

山口工場長から工場概要の説明を受けた後に、地元からの雇用の状況や今後の設備投資の見通し等について意見交換を行いました。その後に、工場内を見学し、巨大な船舶用のディーゼルエンジンの製造行程等の説明を受け、質疑応答を行いました。



③ジャパンマリンユナイテッド株式会社有明事業所

ジャパンマリンユナイテッド株式会社有明事業所は、昭和48年に日立造船株式会社有明工場として操業開始後、日本鋼管株式会社の船舶部門との統合によりユニバーサル造船株式会社となり、その後に株式会社アイ・エイチ・アイマリンユナイテッドとの合併により誕生した企業の最大かつ最新鋭の造船工場です。

従業員数は1,000人を超え、操業以来43年間で225隻もの大型タンカー、鉱石運搬船や自動車運搬船等を建造しています。

出本所長から工場概要の説明を受けた後に、雇用や建造実績、業界の動向等について意見交換を行いました。その後に、工場内を見学し、実際に建造中の船舶に乗船して製造の現場を確認するとともに、建造行程等の説明を受け、質疑応答を行いました。

